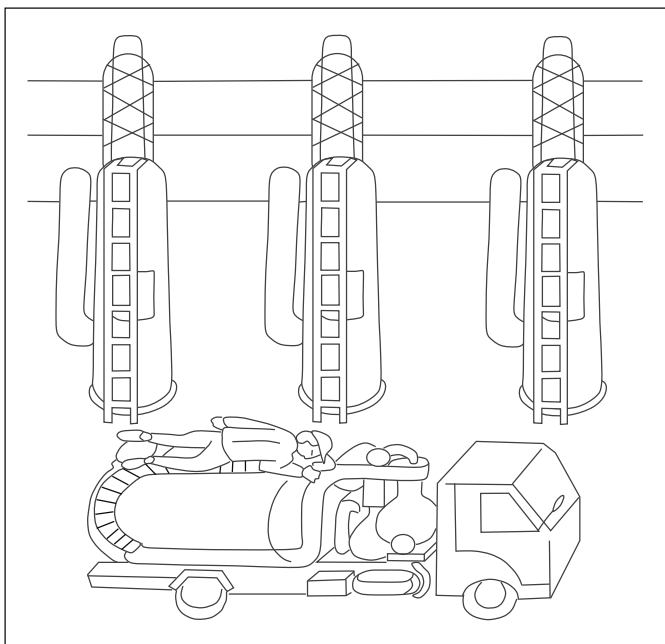


LCGの不純物除去装置の洗浄廃水を回収する際に、一酸化炭素中毒で死亡



【発生場所】

石油精製の際に副生されるLCG（一酸化炭素含有率24.5%のローカロリーガス）に含まれる不純物除去装置

【被災原因】

トップデミスター（金網状の不純物除去装置）は、LCGの不純物の除去で目詰まりするため、月に1～2回洗浄する必要がある。この廃水を水槽に水位70%まで溜めた後、水位10%まで排出することで、水抜き口からLCGが流出することを防いでいた。しかし、作業中に水槽から水が全部抜けてしまい、LCGが接続されたパイプから廃水回収を行うダンパー車に流出した。

【被災状況】

タンパー車上の点検口付近にいた作業者がLCGを吸引し、死亡した。

【対策】からの抜粋

- 1 作業手順書を作成し、関係労働者に周知すること、事前打合せを確実に実施すること。
- 2 新規作業の際は、十分な安全教育を実施し、LCG吹抜けの危険性を周知すること。



～理研計器からのご提案～

リスクアセスメントを実施し、ガスの発生が予見される環境や作業がある場合、リスク低減措置に加え、ガス検知警報器で安全確認をしながら作業されることを、お勧めいたします。